

事務局発 第439号

令和2年2月吉日

賛助会員各位

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の
物流に係るご協力のお願い

一般社団法人 日本加工食品卸協会
会長 國分 晃

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より弊協会の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、わが国における本年最大のイベントであります「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」も開催まで5か月余りを残すところとなりました。大会期間中は選手や大会関係者等の道路利用により、首都高速道路では1日あたり約7万台の交通量が増加し、何も対策を施さなければ、首都高速道路における渋滞の悪化や、都心に向かう一般道における渋滞の発生が見込まれ、当該期間における物流体制の整備について、その準備が急がれております。東京都、国及び大会組織委員会からは、「2020TDM推進プロジェクト」として、大会開催時の交通量の抑制や分散、平準化を行う「交通需要マネジメント（TDM）」を推進し、円滑な大会輸送の実現と経済活動の維持との両立を目指す中で、具体的な目標及びその取組例が示されております。

これらの状況の中で、弊協会の会員企業各社もその対策と準備を開始しているところですが、その対応は商品の調達先であるメーカー様各位との連携の中で進めるべきことは言うに及びません。しかしながら、現状においては交通規制及び混雑の状況が今だ不透明なこともあり、お互いに詰め切れていないのが実態であります。このままの状況では私共のお取引先である小売業様・外食業様よりのご要望に対して、応えられなくなることも考えられます。

つきましては、小売業様・外食業様へ具体的なお案内、ご提案が出来るよう、早期に会員企業各社と具体的な協議を開始していただき、双方の事情を踏まえた課題の共有と対応策の策定をお願い申し上げる次第であります。大会期間中の物流が円滑に運営でき、大会が製配販各層にとって実り多きものになるよう、賛助会員企業様の格段のご協力をお願い申し上げます。

謹白

※ 協会のホームページに東京2020大会に向けたTDMの取組、交通マネジメントに関する詳細情報を掲載中ですので、ご参照ください。（<http://nsk.c.ooco.jp/>）